

医局会&自閉症スペクトラム研究会

子どものこころの発達研究センター
医薬保健研究域 脳情報病態学

日時:平成22年3月2日(火) 17時から

場所:金沢大学医学部十全講堂2階大会議室

* 時間と会場がいつもと異なりますので、ご注意ください

演者:田中 優子先生

(独立行政法人科学技術振興機構社会技術研究システム(RISTEX) 研究員
独立行政法人理化学研究所BSI 非常勤研究員)



タイトル:「幼児の遊び場面におけるコミュニケーションの発達変化」

1歳半から4歳までの定型発達児102名を対象として、発語・発声頻度、声かけへの反応、指示語、共感終助詞などといった言語関連項目と、アイコンタクトなどの共同注意や、愛着行動、授与行為などを含むコミュニケーションの指標について、自然な遊び場面でのデータの収集と分析を行った。定型発達児では、言語と共同注意の間に有意な相関が認められ、幼児期から女児のほうが男児よりも頻繁にこれらのコミュニケーション行為を行っていることがわかった。また、同月齢の広汎性発達障害児では、共同注意や授与行為の発現頻度の低さや、声かけへの反応の少なさが特徴としてみられた。

